



自ら正解をつくること

校長 生田目 治善

正解のない問いに立ち向かうことはかなり苦しいことです。この正解のない時代に立ち向かうために大切にしたいことは、自ら正解をつくれるようになることではないでしょうか。「自ら正解をつくる」とは自分が考え選択したものがいずれ正解だったと言えるような生き方・学びをしていくことだと思っています。

近年の合理主義的な考え方だと、どこかに正しい答えがあってそこに近づけていくという発想になりがちです。こうあるべきだとか正しい方向性はこうだとか言い出したり、価値の物差しを作ったりした瞬間に答えをつくっていることとなります。これは人間の営みにはそぐわないものだと思っています。

「教育はこうあるべきだ」という正解をつくりたがる社会にいかにか抗うか、今の私たちにはそれが求められているような気がします。

現在、本校で研究している「学びの自覚」は、「教育はこうあるべきだ」という感覚を無くし、子どもたちが正解のない問いに挑戦することを通して、これからの時代を生き抜き豊かに成長するためにはどのような学びをしていくことが良いのかについて研究をおこなっています。

今後、より研究の質を高めるために多くの先生方に忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。ご協力の程よろしくお願いいたします。

静岡大学教育学部附属静岡中学校

令和6年度

教育研究協議会のご案内



▶ 教科別協議会

教科	助言者 (氏名・所属)	協力委員 (氏名・所属)	共同研究者 (静岡大学)
国語	静東教育事務所地域支援科 青木 崇人	静岡市立安東中学校 高山 浩二 藤枝市立高洲中学校 高尾 悠	大塚 浩 坂口 京子
社会	国立教育政策研究所 磯山 恭子	伊豆の国市立長岡中学校 齋藤 亮	佐藤 正志 西野 肇
数学	静岡市立安西小学校 高橋 文乃	牧之原市立相良中学校 櫻井 辰徳 静岡市立城内中学校 森谷 尚久	裕元 新一郎 峰野 宏祐
理科	国立教育政策研究所 藤枝 秀樹	富士市立吉原第三中学校 小永井俊樹 静岡市立清水第八中学校 小谷 武士	郡司 賀透 内山 秀樹 雪田 聡
音楽	静岡県教育会館 池谷 英人	静岡市立末広中学校 今村 圭	後藤友香理 東屋敷尚子
美術	静岡市立大川小中学校 萩原 彰彦	富士宮市立黒田小学校 島口 美聡	芳賀 正之 川原崎知洋
保体	国立教育政策研究所 綱島 毅	御殿場市立御殿場中学校 山田 兼世	野津 一浩
技術	静岡市教育センター 望月 勇紀	静岡市立籠上中学校 仲嶺 春平	室伏 春樹 松永 泰弘
家庭	静岡市立西奈中学校 友田未由紀	静岡市立清水第六中学校 望月 七光	小清水貴子
英語	静岡市立城内中学校 笠井 真理	富士市立元吉原中学校 稲垣 研人 焼津市立大富中学校 杉山 敦子	矢野 淳 クレメンツ・ピーター

※敬称は省略させていただきました。

研究主題

学びの自覚

—学びの自覚を共に育む授業者—

期 日 令和6年11月1日(金)

会 場 静岡大学教育学部附属静岡中学校

講演会 「学校の任務、教科の任務」

講 師 上智大学総合人間科学部教育学科
教授 奈須正裕先生

主 催 静岡大学教育学部附属静岡中学校

後 援 静岡県教育委員会・静岡市教育委員会



〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1番86号

TEL 054-255-0137 FAX 054-252-7335

E-mail osizuchu@shizuoka.ac.jp

URL https://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shizuchu/

HPには、教育研究協議会のお知らせや、日頃の授業のようすなどを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



▶ 日程

8:50	9:10	9:30	9:40	10:00	10:20	11:10	11:30	12:20	13:10	14:30	14:45	16:15
受付	全体発表	休憩	(事前説明 教科ごと)	準備	公開授業 第1時	移動	公開授業 第2時	昼食	教科別 協議	移動	講演	

(全体発表について)

*オンラインで事前に公開します。当日に公開するものは事前公開したものと同一内容になります。

(受付について)

*受付は8:50～9:30になります。全体発表を当日視聴する方は9:10までに受付を済ませてください。事前に視聴された方は、9:30までに受付を済ませてください。

▶ 公開授業 第1時 10:20～11:10

教科	学級	題材名	概要	授業者
国語	3年C組	17音に思いをのせよう	文章、映像、写真など表現する手段がたくさんある現代で、自分の思いや感動をあえて17音で表す意味はなんでしょうか。一言に込められた思いに寄りそい、言葉を吟味しながら俳句の世界を味わいます。	井上 由貴
数学	1年C組	みえないものをみてみよう	身の周りの事象をみると、「みえてはいるけどはみえないもの」がたくさんあります。意識的にみること、自分たちの知らない関数の世界が広がっています。医療・看護の現場で使うこの道具の仕組みを、数学の世界から解き明かしていきます。	勝又 俊
音楽	3年A組	「アメイジング・グレイス」の表現を追求する	あなたはどのようなときに歌を歌いますか？楽しいとき？つらいとき？歌は歌う人の思いを色濃く反映しながら、現代でも脈々と歌い継がれています。時代や国籍を越えた、人々の祈りが込められた曲に出会ったとき、子どもたちはどのように心のエネルギーを表現するのでしょうか。	兵庫 廣多
美術	1年A組	ひみつの友達をアートでプロデュース —相手のことを考える造形実験—	美術を思いきり楽しんでいたなら、表現の幅も広がって、何だか優しい気持ちになった…そんな授業ができればいいと思います。「ひみつの友だち」に想いをはせて、自分の表現を追求し、試行錯誤しながら実験に取り組む子どもたちの生き生きした姿をご覧ください。	望月 理恵
保健	2年D組	幅広い選択肢から運動を選ぶために	自由に使える時間があるとしたら、その時間をあなたはどのように使いますか。その選択肢の中に運動に関するものはあるでしょうか。今回の授業では、運動とのかかわりについて立ち止まり、考えることを通して運動への価値観に迫っていきます。ぜひ、運動とのかかわりについて一緒に考えてみませんか。	勝野由志雄
家庭	2年B組	フェーズフリーと住生活	「いつも」と「もしも」。当たり前前に生活をする中で、突然、それができなくなってしまったら。あなたはどうしますか？災害が身近に感じる今だからこそ、子どもたちと一緒に「いつも」と「もしも」を考えてみませんか。	平林亜希子
英語	1年D組	Fuchu Expo —An Important Element of Myself—	子どもたちが心から魅力的に感じるものを集めた展覧会—Fuchu Expoを開催します。英語でやりとりをする中で、自分の思いを言葉にのせて伝え、相手の思いを理解して互いをわかり合うために、大切なことは何かを考えていきます。	松永 有未 Matthew Coughlin

▶ 公開授業 第2時 11:30～12:20

教科	学級	題材名	概要	授業者
国語	2年A組	伝えたいことは何だ!?	「なぜ読むの」「難しそうで気乗りしない」そう思われがちな論説文ですが、子どもが自然と内容や言葉に注目し、文章を正確に読み進め、語り合う姿をご覧ください。	三島 将弘
社会	1年B組	何が難民を生みだすのだらう	人々の営みの中で何が難民を生みだしているのでしょうか。多様な背景を抱えて母国を離れた人たちは、世界中に約1億2000万人いると言われていて。海の前で起こる「難民問題」を多面的に考えることで、私たちが生きる世界のあり方が見えてきます。	井村 和仁

教科	学級	題材名	概要	授業者
数学	2年C組	あまったホールケーキは敵しいって!	誕生日の翌日、ホールケーキが余っていたことはありませんか？独り占めできたら幸せですが、現実にはケーキほど甘くはありません。子どもたちと一緒に、残ったケーキを等しく分けるための方法を、図形の性質を用いて考えてみませんか。	児玉 祐樹
理科	3年D組	生命のつながり	最初の生命誕生から約40億年。その道のりは、壮大なドラマと謎に満ちています。化石や現生生物の観察、実験、調査活動などをもとに、過去から現在、未来へと続く生命のつながりを、子どもたちが科学的に探究していきます。	糟屋 晃久
技術	3年B組	Fuchu Farm —技術を集結させた農場づくりを通して—	生物育成の技術を軸に、他の内容の技術を統合させながら、良質な葉物野菜の育成について追求していきます。枝豆を育てた経験を生かし、植物が育ちやすい環境を整えたり、管理がしやすいように自動化を図ったりしながら、よりよい栽培とは何かを考えます。	松原 佑
英語	2年D組	A Dream of Mr. Oyaizu —Show me how to introduce matcha to the U.S.—	「アメリカに私のお茶を広めたい」と願う小柳津氏。思いをもつことや、誰かの思いに応えたいという感情は、新たなものを生み出すコミュニケーションへの入口です。小柳津氏へのよりよい提案をめざし、アメリカの人々の文化的背景に思いを馳せたり、英語表現を吟味したりする子どもたちの姿を願って実践します。	吉田 龍弘 Bjorn Christenson

〈申込方法〉

- 参加ご希望の方は右の二次元コードを読みとり、Google Formに必要事項を入力の上、お申し込みください。申し込み期限は10月24日(木)になりますが、応募状況によっては、期限前に締め切ることもありますのでご了承願います。
- 事前連絡のない当日の参加はご遠慮ください。



〈参加費〉 無料

〈昼食〉 弁当の販売は行いません。各自でご持参ください。

〈協議会前後の授業公開について〉

- 協議会の前後2週間の授業参観を受けつけております。当日の参加が叶わないけれど参観を希望する方、協議会前後のあらわれをご覧になりたい方は本校研修部 (osizuchu@shizuoka.ac.jp) までお問い合わせください。

〈その他〉

- 駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用いただくか、できる限り公共交通機関をご利用ください。
- 今後の状況によって、開催方法等が変更になることがあります。その際は本校ホームページや、お申し込み時に登録いただいたメールでお知らせいたします。



研究書籍のご案内

対話が深める子どもの学び

—「教科ならではの文化」を味わう授業—

本書では、各教科が考える「教科ならではの文化」を味わう授業について、具体的な子どもの姿を通して提案します。書店・オンライン書店等でお求めになれます。